



「清流の国ぎふ」文化祭2024

ともに・つなぐ・みらいへ～清流文化の創造～



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位



令和5年10月23日（月） 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
清流の国ぎふ 文化祭推進課	事業推進係	橋本 昌樹	内線 3176 直通 058-272-1971 FAX 058-278-2660

＜「清流の国ぎふ」文化祭2024＞

文化的処方プログラムの

第1回文化リンクワーカー育成プログラム講座を開催します

令和6年に岐阜県で開催する「清流の国ぎふ」文化祭2024では、文化芸術を用いることでウェルビーイングを高める、「文化的処方プログラム」を実施します。

このため県実行委員会では、この「文化的処方」の橋渡しをする、「文化リンクワーカー」の育成を進めていくこととしています。

今回下記のとおり、第1回文化リンクワーカー育成プログラム講座を開催します。

記

- 1 日時 令和5年10月27日（金）18:00～20:00
- 2 場所 OKBふれあい会館 第1棟 4階 403会議室
（岐阜市藪田南5丁目14-53）
- 3 講師 ・『「共生社会」をつくるアートコミュニケーション共創拠点』
プロジェクトリーダー・東京藝術大学特任教授 伊藤 達矢 氏
・東京藝術大学地域コーディネーター・
中部学院大学准教授 水野 友有 氏
- 4 内容 （1）文化的処方及び文化リンクワーカーについて
（2）文化リンクワーカー候補生等の自己紹介
（3）文化的処方に関するグループワーク
- 5 参加者 文化リンクワーカー候補生14人（予定）

文化的処方プログラムについて

▶文化的処方

「文化的処方」とは、「社会的処方」を援用したもの。健康といったところに医学的な療法で治療を求めるように、同じように文化芸術を用いることでウェルビーイングを求めるもの。

※「社会的処方」とは身体的健康のみならず、精神的及び社会的に健康であることのために、薬ではなく、社会との繋がりを専門人材であるリンクワーカーが医療機関等と連携し必用とする者に処方する仕組みで、主にイギリスなどで行われている。

▶文化リンクワーカー

「文化リンクワーカー」は、一人ひとりの状況に応じた「文化的処方」を提示し、他者と共に楽しむ居場所や出番に橋渡しすることで社会参加を促す人々。

▶文化的処方プログラム

文化的処方を橋渡しする文化リンクワーカーを育成し、「清流の国ぎふ」文化祭2024の期間中に文化祭会場を活用した文化的処方を実施するプログラム。

『「共生社会」をつくるアートコミュニケーション共創拠点』の概要

福祉・医療・テクノロジーと融合したアートコミュニケーションによる誰もが「自分らしく」いられる共生社会の実現を拠点ビジョンとした東京藝術大学を代表機関とする機構。岐阜県をはじめ、複数の自治体や企業が参画している。

「清流の国ぎふ」文化祭2024の概要

- 1 正式名称 「第39回国民文化祭」 「第24回全国障害者芸術・文化祭」
- 2 統一名称 「清流の国ぎふ」文化祭2024（にせんにじゅうよん）
- 3 キャッチフレーズ とともに・つなぐ・みらいへ ～ 清流文化の創造 ～
- 4 基本方針 (1) 「清流の国ぎふ」の文化力を結集・発信
(2) 次世代を見据えた文化芸術の創造
(3) 文化芸術で人が輝く共生社会の実現
(4) 国民文化の大交流の実現
- 5 会 期 令和6年10月14日（月・祝）～11月24日（日）〔42日間〕
- 6 主 催 者 岐阜県、文化庁、厚生労働省 等